

# イケアジャパン 会社概要

平成26年4月3日  
イケアジャパン株式会社

# イケア・ジャパン 会社概要

## 2014年度版



# 「家が世界で一番大切な場所」

私たちは、「より快適な毎日を、より多くの方々にご提供する」ホームファニッシングカンパニーです。

イケアは、スウェーデン南部のスモーランドという小さな町で生まれました。

現在、26の国と地域にまたがり、ヨーロッパ、アメリカ、アジアを中心に約300のイケアストアを展開しています。創業から70年以上、イケアのビジョンは変わりません。

「より快適な毎日を、より多くの方々にご提供すること」。

これは、ホームファニッシングを見た目だけで考えるのではなく、日常生活にひそむ問題や不便さを解消できる製品をデザインするということ。

また、より多くの方々が、できるだけ少ない予算で、家での快適な暮らしを実現するためのお手伝いをするということです。

日本では、2006年にオープンしたIKEA船橋をはじめ、関東と関西、九州エリアに6ストア、そして今年2014年、いよいよ7ストア目となるIKEA立川と8ストア目のIKEA仙台がそれぞれオープンします。

イケア・ジャパン株式会社 代表取締役社長  
ピーター・リスト



スモーランドの石垣は、イケアのシンボル。厳しく優しい自然のなかで、人々はよく働き、慎ましく暮らし、限られた資源を有効に使うために工夫しています。







## About IKEA

Our vision is to  
create a better  
everyday life  
for the many people



より快適な毎日を、  
より多くの方たちに



DESIGN AT IKEA

## Design for everyone

みんなのためのデザイン

### Democratic Design

優れた品質とデザインは多く  
の人が手に入れられる価格であ  
るべきだとイケアは信じていま  
す。

「デモクラティックデザイン」  
の5つの要素（形、機能、品質  
、サステナビリティ、低価格）  
を用いて、イケアの商品はデザ  
インされます。

既製概念にとらわれないという  
よりも、既製概念を吹き飛ばす  
デザインです。

**Democratic  
Design** >

FORM  
QUALITY  
FUNCTION  
SUSTAINABILITY  
all at a  
LOW PRICE



## Story

## イケアの製品づくりのストーリー

イケアの製品開発は、世界中の国の生活スタイルを理解することから始まります。  
世界各国で一般家庭を訪問し、日々の暮らしぶりや快適な生活を実現するためのニーズや要望に耳を傾けます。

製品開発者とデザイナーはまず低価格を念頭におき、デザイン、機能性、品質、サステナビリティ（持続可能性）を組み合わせた製品を開発する努力を続けています。  
その地道な努力が、イケアの価値観を反映した商品展開を支えています。

イケアが低価格を維持していくためには、お客さまとのパートナーシップも不可欠です。  
お客さま自身で商品を棚からピックアップして自宅まで持ち帰り、またご自身で組み立てることで、商品コストを抑えられます。  
お客さまもイケアも節約できるのです。



# Materials for the future

## 再生可能な素材を利用する

イケアは、常に未来のことを考え、よりサステイナブルな素材、自然素材や再生可能素材、リサイクル素材を使って、商品作りを心がけています。最小限の素材を最大限に生かし、価格を抑え、資源を大切に使用することに挑戦し続けています。素材選びから、生産や流通におけるエネルギー消費の削減、すべての段階において、環境への配慮を忘れません。



# Innovative production

## 生産現場との信頼関係

イケアは、イケアとともに成長し発展したいと望み、イケアの価値観に共感できるサプライヤーと長期にわたる信頼関係を築く努力をしています。、私たちが目指すのは、サプライヤーが自らの責任を持って取り組めるようになり、持続可能に成長し、イケアのサポートなしで機能できるようになることです。イケアのデザイナーや製品開発担当者、仕入れ担当者は、生産現場である工場によく足を運びます。





## コワーカーと企業文化



イケアにとって、コワーカー（従業員）は何よりも貴重な財産です。私たちが共有する価値観（イケアバリュー）は、簡潔であること、学ぶ意欲、誰かの役に立ちたいと願う気持ちです。これはスキルよりも大切と考えられ、すべての行動の基本となります。イケアはすべてのコワーカーが個人として、また職業人として成長する能力があると信じています

### **Diversity**（多様性）

イケアが大切にしているのは、多様性です。イケアでの多様性とは国籍、身体能力、ジェンダー、民族、年齢だけにとどまらず、たとえば宗教、性的指向、職歴、教育、子供の有無、喫煙など、とても広い多様性の捉え方をしています。個々の違いを最大限に引き出すことが、企業、個人、双方の成長につながると考えます。

### **Work-life balance**（仕事と生活の調和）

イケアは、プライベートの生活を大切にしてこそ良い仕事ができると考え、コワーカーがワークライフバランスを実現できるようさまざまなサポートをしています。また地域社会においても強力な信頼関係を築けるよう、良心的で責任あるビジネスを展開しています。



# People & Planet

## For a sustainable future

### イケアの「終わりなき取り組み」

イケアは社会と環境に対する責任を果たそうと日々努めています。長期目的の一つは、再生エネルギーを100%使用すること。2012年4月にオープンしたIKEA福岡新宮では、太陽光パネルや、日本最大級の地中熱利用システムを導入し、空調熱源システムの省エネルギー化をはかっています。また、他店においても、電気自動車の充電ステーション設けたり、雨水利用システムの導入などで、環境への影響を最低限に抑える挑戦をしています。

この挑戦は、イケアストアだけにはとどまりません。例えば、綿の生産農家における水使用量を減らす技術の指導や、森林プロジェクトの支援なども行っています。商品そのものも常に改善しています。しかし最も大切なのは、イケア製品を利用するお客さまが、環境に優しい生活を送れるようにすることです。多くの方がLED電球や節水機能付き水栓に切り替えたりゴミ分別を行えば、大きな変化が生まれると考えます。

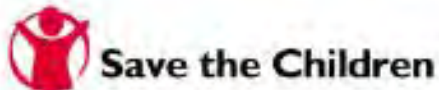


# Children are the most important people in the world

## 子どもは世界で一番大切な存在

世界のどこに住んでいようと、すべての子どもたちが健康で安全な生活を送り、質のいい教育を受ける権利があると信じています。主にアフリカやインドの1億人の子どもたちが明るい将来を迎えることができるように、全世界のイケアストアでは、「ソフトトイ・キャンペーン」を毎年11月に実施し、ユニセフとセーブ・ザ・チルドレンの教育支援プロジェクトへ寄付をしています。

2014年2月には新たにUNHCRとともに難民キャンプで生活続ける子どもたちに光を届けるキャンペーンを開始しました。



- IKEA Foundationは、子ども達へチャンスを提供します。
- 寄付金は8,200万ユーロになりました。
- 私たちの経験や技術など、活動基金以上のものを分合います。



# 東日本こどもプロジェクト

日本国内において、2011年に起きた東日本大震災の復興支援のため、主に以下の取り組みを行っています。

- **2011年3月～5月:** 約7,000枚の毛布や2万枚のタオル、多数のおもちゃ等を避難所をはじめ、さまざまな場所へNPOを通じて寄付
- **2011年5月:** 岩手県・宮城県の仮設住宅へ7,000個の生活支援キットの提供
- **2011年9月26日:** 復興支援を目的とした「仙台ミニショップ」オープン
- **2012年3月10日～:** 「東日本子どもプロジェクト」をスタート。お客さまのご協力をいただきながら、被災地の子供たちへ「遊び」を通じた長期サポートを実施。約55か所の施設を訪問しました。
- **2013年1月～2014年:** 岩手県、宮城県に続き福島県へ活動を拡大。「ハッピープレイバス」で約55の保育施設を訪問。また、約45の保育施設への家具、おもちゃの提供を行いました。

詳細は以下ウェブサイトにてご覧いただけます。

[http://www.ikea.com/ms/ja\\_JP/campaigns/sustainability/kodomo\\_mirai/index.html](http://www.ikea.com/ms/ja_JP/campaigns/sustainability/kodomo_mirai/index.html)

